富士山を守り伝える拠点施設

静岡県富士山世界遺産センターがオープン

昨年12月23日、静岡県富士山世界遺産センターがオープンした。平成23年度の基本構想策定から、基本計画、展示実施計画の策定まで、入念なプロセスを経て誕生した同センターの理念、目的、特徴を紹介する。

関心と期待感を喚起する美しいデザイン

静岡県富士山世界遺産センターは、2013(平成25)年、世界文化遺産に登録された富士山を後世に守り伝えるための拠点施設だ。JR富士宮駅から徒歩圏内にあり、構成資産の1つ「富士山本宮浅間大社」にも近い立地は、富士登山の始点として好適であるとともに、富士山を理解するための入口としてもふさわしい。設計したのは、世界的な建築家として知られる坂茂氏。同氏は建築界のノーベル賞とも言われるプリツカー賞を2014年に受賞している。

まず目を奪われるのは外観だ。逆円錐形の木格子を水盤に映すことで、富士山のシルエットを水面に描くデザインは息を飲むほど美しい。その光景を眺めながら水盤の外周をまわり、自然な流れで来場者を入口方向へ導く設計は、富士山への関心や館内への期待感を高める演出となっている。

館内は「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」「深く究める」という4つのテーマで構成されている。世界文化遺産の登録名「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」に沿い、富士山の歴史、文化、芸術などを国内外の来場者に対して多角的に紹介し、深い理解を促す仕組みだ。

6つの視点で富士山を知る

館内の見学コースは、逆円錐形に組まれた木格子の中を上って行く展示「登拝する山」から始まる。地上5階部分まで続くスロープは、全長193m。壁面には登山者目線の映像が投影され、静岡県の特色である海からの富士登山を疑似体験できる。山頂が近づくとスロープの傾斜が少し急になり、音響装置から流れる風の音も激しさを増す演出は、実際の登山に近い感覚が味わえる。バリアフリーの観点からエレベーターも設置されている。

最上階にはピクチャーウィンドウと呼ばれる大きな窓があり(天気に恵まれれば)遮るもののない本物の富士山を一望できる。そこから5階の「荒ぶる山」、4階の「聖なる山」、3階の「美しき山」「育む山」「受け継ぐ山」という順路で見学していくと、最新のデジタル映像も駆使した「見て・触って・感じる展示」が次々に現れる。解説文は日英中韓語に対応。2階には265インチの4K映像シアターと企画展示室、1階には富士山ライブラリーとカフェ・ショップも設置されている。

調査研究体制の構築

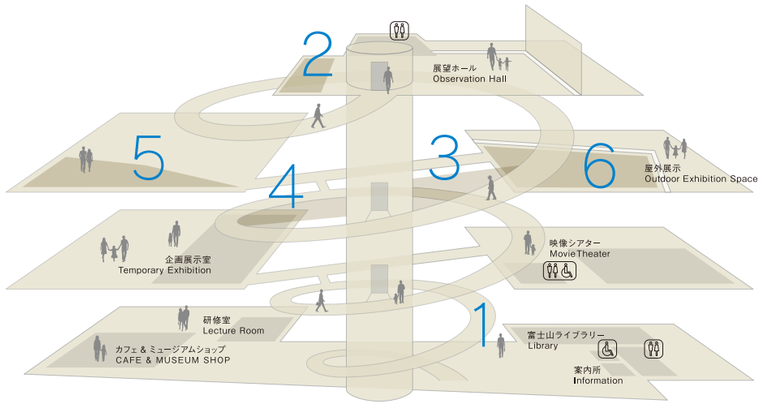
同センターは、学際的、国際的、総合的調査研究を推進することで、ユネスコからの要請である「世界遺産研究推進」と「地域と一体の保全推進」の基盤を整えている。その上で、富士山の「顕著な普遍的価値」の分析・解明、国内外との連携による世界遺産研究への寄与、展示等を通じた研究成果の地域還元・富士山保全を達成する体制を構築している。研究や分析の対象は、考古学、民俗・文化人類学、美術史、日本史、文学等、多岐にわたり、それぞれに専門の研究者を配置。成果は館内外の講座を通じて、学校教育や生涯学習支援に活かしていく。将来はMOU(研究協力協定覚書)締結を視野に入れながら、国内外の研究機関と連携するビジョンも描いている。こうした総合的な取り組みによって「守る」「伝える」「交わる」「究める」という4つのテーマを具体化するのが同センターの理念だ。

富士山を知ることは日本を知ること

美しく、雄大で、神秘的…。富士山を形容する言葉はいくつもある。また、信仰の対象や芸術の源泉など、富士山を理解する上で不可欠な要素は多い。静岡県富士山世界遺産センターは、鑑賞、体感、感動を通じて、富士山を一体的かつ立体的に分かりやすくイメージできる展示を実現している。

富士山を理解することは、日本を理解すること。同センターの試みは、全世界へ日本の歴史文化を正しく伝えるという意味においても画期的だ。

平成29年12月22日の開館記念式典。雲ひとつない晴天と富士山をバックに、華々しくスタートを切った。



撮影：平井広行(オープニングセレモニーの写真を除く)

富士山のシルエットを水面に描く美しいデザイン。

～2月23日は富士山の日。全国の〝○○富士〟が一堂に！～「富士山の日」記念「秀景ふるさと富士写真展」は2月23日から　問合せ：静岡県富士山世界遺産センター　0544-21-3776

1 登拝する山
富士登山を疑似体験

2 荒ぶる山
自然・火山としての富士山

3 聖なる山
信仰の対象としての富士山

4 美しき山
芸術の対象としての富士山

5 育む山
富士山の湧水が育む生命

6 受け継ぐ山
富士山を守り伝える

Data

静岡県富士山世界遺産センター
静岡県富士宮市宮町5-12
0544-21-3776

[開館時間]9:00～17:00(7、8月は18:00)
[休館日]毎月第3火曜(祝日の場合は次の平日)、施設点検日
[観覧料]1人300円
(学生及び障害者、15歳未満と70歳以上は無料)
※ライブラリーとカフェへの入場は観覧料不要
※企画展は別途有料の場合あり